

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2021 年度

学校名	国際ペット専門学校福井
学科名	ペット総合学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	2年次		合計	
				前期	後期		
授業科目及び授業時間数表	動物看護コース	動物臨床看護学総論	宮原 佳奈	○	30		30
		動物臨床看護学実習	宮原 佳奈	○	30		30
		動物形態機能学Ⅱ	横田 真早子	○	30	30	60
		動物臨床検査学	横田 真早子	○	30	30	60
		動物臨床検査学実習	横田 真早子	○	45	45	90
		動物臨床看護学各論	石畝 史	○	60	60	120
		動物臨床栄養学	原田 冬華	○	30	30	60
		動物薬理学	中山 小百合	○	30	30	60
		動物外科看護学	中山 小百合	○	30	30	60
		動物外科看護学実習	中山 小百合	○	45	45	90
		動物看護学概論	久木 悠愛	○	30		30
		公衆衛生学	石畝 史	○	30	30	60
		伴侶動物学	宮原 佳奈	○	30		30
		臨地実習	原田 冬華		120	120	240
		産業動物学	小林 修一	○		45	45
		実験動物学	小林 修一	○		15	15
		野生動物学	小林 修一	○		30	30
		動物医療関連法規	石畝 史			30	30
		統一試験対策	原田 冬華		30	30	60
		小 計（単位時間）					600
トリマーコース	トリミング実習	富永 梨恵	○	480	480	960	
	グルーミング理論Ⅱ	富永 梨恵	○	30		30	
	キャットマイスター	表谷 祐美	○	30		30	
	トリマー看護学	原田 冬華	○		30	30	
	グルーミング理論Ⅲ	富永 梨恵	○		30	30	
	ドッグエステ学	表谷 祐美	○		30	30	
小 計（単位時間）					540	570	1110
合計(単位時間)		動物看護コース		1140	1170	2310	
		トリマーコース		1080	1080	2160	
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）		動物看護コース		450	390	840	
		トリマーコース		540	570	1110	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学総論		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
動物看護を系統的・科学的に行うために必要な動物看護過程の原理と方法について学修する。 動物看護管理の対象とその実践範囲について理解し、組織における良質な動物看護を提供するための知識を修得する。 終末期の動物と飼い主のケアの方法を学修する。				
授業終了後の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物看護過程の展開を理解し、動物看護を実施する際の基礎知識が身に付く 看護記録の扱い方や動物看護者の業務指針を理解できる ターミナルケア・グリーフケアの意義と目的を理解し、アプローチ方法が身に付く 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物の看護過程展開①	なぜ動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える。 アセスメントとは何か、実施する際に活用するSOAPモデルについて学ぶ		
2	動物の看護過程展開②	看護診断とは何か、獣医師の職務と区別して看護過程の中での診断の言葉の意味を理解する		
3	動物の看護過程展開③	看護計画とは何か、orpetとjeffryのアビリティーモデルについて理解する		
4	動物の看護過程展開④	看護実践と評価とは何か、誰もが理解できる正確な記録方法の必要性を理解する		
5	動物の看護過程展開⑤	事例を用いて、動物看護過程の各ステップでのポイントや、展開方法を理解する		
6	動物看護業務	チーム獣医療における動物看護師の役割、ケアの標準化、事故管理・防止システムについて理解する		
7	医療記録	診療記録と看護記録の違いを理解し、POS・POMRとその関連性について学ぶ		
8	動物看護記録 基礎知識	記録のために必要な知識と情報の取舍選択について、表や事例を用いて学修する		
9	動物看護記録 基本ルール	SOAPを使用している記載例を参考に、それぞれに書く内容と目的を理解する		
10	動物看護記録 誤解を防ぐポイント	「動物看護実践基準」の6つの原則について学び、各項目の正しい記載方法を学修する		
11	動物看護記録 外来	初診と再診の動物看護記録の特徴をそれぞれの事例を見ながら学修し、外来時の看護師の役割と記録の必要性を理解する		
12	ターミナルケア	ターミナルケアの意義と目的、安楽死の意義、QOLやホスピス、緩和ケアについて理解する		

13	グリーフケア①	グリーフの心理プロセスと、生前に起こり得る状況別のグリーフに対するアプローチ方法を学修する		
14	グリーフケア②	死後のグリーフケア、死亡した動物への対応、エンゼルケアについて学修する		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
今からはじめる動物看護過程 臨床動物看護学総論 基礎動物看護学 動物看護実践基準 動物医療グリーフケア (インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学実習		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
動物看護記録の取り方、表記方法を学ぶ。 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
授業終了後の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物看護記録・動物看護計画の記載方法と必要な留意点を理解し、作成できる 入院動物の管理、疾患又は症状別の看護を行える 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	動物看護過程の実践①	事例を元にアセスメントを行い、思考過程用紙に記入する		
2	動物看護過程の実践②	事例を元に疾患別の基礎知識を確認し、看護上の問題点を抽出し、看護計画用紙に記入する		
3	動物看護過程の実践③	事例を元に看護目標を設定し、観察項目を挙げてから看護計画を立案し、看護計画用紙に記入する		
4	動物看護過程の実践④ グループワーク	設定した各疾患ごとに動物看護過程を展開し、看護計画用紙を作成する		
5	動物看護過程の実践⑤ グループワーク	設定した各疾患ごとに動物看護過程を展開し、看護計画用紙を作成する		
6	薬浴①	薬用シャンプーの種類や成分、シャンプー療法と注意点を学修し理解する		
7	薬浴②	薬用シャンプーを用いたシャンプー療法の実技を行うことで正しい薬浴の知識を学修し理解する		
8	リハビリテーション	リハビリテーションとは何か、目的や適応症例を理解し、リハビリ方法を学修する		
9	入院動物看護①	廃棄物の処理方法、バイオハザードマーク、主な感染源について理解し、手指洗浄法や診察台の消毒法を学修する		
10	入院動物看護②	入院ケージの清掃の手順、院内清掃のポイント、入院から退院までの流れを学ぶ		
11	入院動物看護③ グループワーク	さまざまな事例を想定し、グループに分かれて入院室を準備してみる		
12	食事管理	実際の器具やフードを使用した実習を通して、強制給餌の手順を理解する		

13	痛みの評価	痛みのメカニズムや分類、痛みが出る疾患、急性痛と慢性痛の違いとそれに沿った看護について学修する		
14	高齢動物管理	加齢に伴う介助と、褥瘡管理等の具体的な対処法を学ぶ お悔やみ文の文章を考え、実際に作成してみる		
15	まとめ	確認問題を解き、解答解説を行ってこれまでの内容の理解度を把握し、総復習をする。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
今からはじめる動物看護過程 はじめての動物看護記録 臨床動物看護学総論 基礎動物看護学 動物看護実践基準 (インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学Ⅱ		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
動物の体の構造（形態学）と仕組み（機能学）は密接な関わりがあり、これを合わせて形態機能学として細胞レベルから器官系レベルの各段階で学修することで生命維持の仕組みを理解し、他の基礎学問や臨床系科目を学修するための基礎を構築する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 体の構造を知ることによって動物の扱い方に配慮することができる。 細胞、組織、器官、器官系の正常な構造と機能、関係性を理解することで動物の疾病の機序を理解できる、などの応用学問や臨床学問の基礎を構築することができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	生体の成り立ち	体を構成する主な基本物質や生体の階層構造を図で学び、化学物質レベルから個体レベルまで学習する		
2	細胞の構造と働き	図表などで学び、動物細胞の基本的な構造と働きについて学修する		
3	細胞分裂、遺伝情報	図表などで整理し、細胞分裂のしくみや遺伝情報に関わる事柄について学修する		
4	遺伝子と器官発生	遺伝や遺伝に関する法則などについて学修する。 受精卵から器官発生が起こる過程を学修する		
5	組織	図表を整理して、上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について、構成や分類、機能について学修する。		
6	皮膚	皮膚の構造と機能および皮膚の付属器官について学修する		
7	感覚器	体性感覚（皮膚感覚、運動感覚）および特殊感覚（視覚、聴覚、平衡感覚、嗅覚、味覚）について学修する		
8	運動器①	図表などで学び、骨格の構成や骨の形状と構成について学修する		
9	運動器②	骨格系の分類や関節の構造と機能について学修する		
10	運動器③	骨格筋の構造と収縮機序および主な骨格筋について名称と機能を学修する		
11	血液と造血器①	血液の機能および構成成分と血液細胞の構造と機能を学修する		
12	血液と造血器②	血小板機能と血液凝固機序について学修する		

13	消化器①	図表などで学び、消化器の構造と機能を学修する		
14	消化器②	消化腺（唾液腺・膵臓・肝臓）の構造と機能を学修する		
15	消化器③	炭水化物、タンパク質、脂肪の代謝と消化・吸収のしくみ、酵素反応について学修する		
16	循環器①	図表などで学び、心臓の構造について学修する		
17	循環器②	心筋の性質と興奮伝導系について学修する 心臓の周期、心電図の基礎及び心音について学修する		
18	循環器③	心拍出量およびその調節、心拍数の調節について学修する		
19	循環器④	血管の種類と構造および機能と、血圧の調節機構を学修する		
20	呼吸器①	図表などで学び、呼吸器の構造と機能を学修する		
21	呼吸器②	呼吸および肺胞におけるガス交換のしくみ、呼吸運動の調節機構を学修する		
22	泌尿器①	図表などで学び、腎臓および尿路の構造と機能について学修する		
23	泌尿器②	尿の生成と排尿のしくみを学修する		
24	泌尿器③	体液分布と区分、その調節機構及び電解質のバランス、酸塩基平衡について学修する		
25	脳と神経①	神経系の分類とニューロンの構成および興奮の伝導とシナプス伝達について図表を整理して学習する		
26	脳と神経②	図表で整理して中枢神経系（脳・脊髄）の構造と機能を学修する		
27	脳と神経③	図表で整理して末梢神経系の構成や機能を学修する		
28	内分泌とホルモン総論	ホルモンの性質、機能、生成、分泌、調節機構について学修する		
29	内分泌とホルモン各論①	視床下部、下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体について、臓器の構造と機能および分泌されるホルモンの作用について学修する		
30	内分泌とホルモン各論②	副腎、膵臓について、臓器の構造と機能および分泌されるホルモンの作用について学修する 消化管から分泌されるホルモンの作用について学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物形態機能学(インターズー) 伴侶動物解剖生理学(緑書房) 小動物獣医看護学(インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、生体検査における動物の取り扱いや検体検査における検体や測定機器の正しい扱い方及び所見の記録方法を修得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 検査の原理を理解することで検体や測定機器の適切な取り扱いができるようになる 検査の意義を理解することで病気の診断や治療のサポートができるようになる 検査の方法を理解することで獣医師の診察の補助を適切に行うことができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
回	テーマ	内容		
1	臨床検査の基礎	臨床検査は検体検査と生体検査に分けられ、それぞれどのような検査が行われるかを学修する		
2	血液検査①	検査の目的、採血部位、採血の準備、抗凝固剤の選択、血漿と血清の選択について学修する		
3	血液検査②（血液一般検査）	全血球計算法、血液塗抹検査、ヘマトクリット管を用いた検査について学修する		
4	血液検査③（血液生化学検査）	ドライケムの取り扱い方法や測定する検体の処理方法について学修する		
5	血液検査④（血液凝固系検査）	一次止血、二次止血の機構に異常がないか確認する検査について学修する		
6	血液検査⑤（血液ガス分析検査）	血液ガス測定の意義や検体の取り扱い方、検査方法について学修する		
7	血液検査⑥（免疫学的検査）	感染症の有無やアレルギー疾患、免疫介在性疾患などの検査の目的と意義について学修する		
8	糞便検査①	検査の目的、採便法、肉眼的観察の方法について学修する		
9	糞便検査②	寄生虫の検査、その他微生物の検査、消化試験について意義と方法を学修する。		
10	尿検査①	検査の目的、採尿法、検体の取り扱い、尿の性状検査の意義と方法について学修する		
11	尿検査②	尿沈渣について、標本の作製と所見の解釈について学修する		
12	X線検査①	X線検査の原理および目的、使用する機材および検査における動物看護師の役割について学修する		

13	X線検査②	X線検査の実施方法と撮影体位について学修する		
14	X線検査③	造影検査の目的、分類、方法及び透視撮影の目的について学修する		
15	X線検査④	フィルムの現像と読影準備の方法及びコンピュータX線撮影法（CR）、デジタルX線撮影法（DR）について学修する		
16	X線検査⑤とその他の画像診断	被曝とX線検査時における被曝管理について学修する CT、MRI、PETなどその他の画像診断の概要について学修する		
17	心電図検査①	心電図検査の目的と心電図の原理について学修する		
18	心電図検査②	心電図検査の実施方法と心電図の評価について学修する		
19	心電図検査③	血圧測定の目的と方法及び評価について学修する		
20	超音波検査	超音波の特徴および超音波検査の目的と実施方法について学修する		
21	内視鏡検査①	内視鏡検査の目的、内視鏡の分類および構造について学修する		
22	内視鏡検査②	内視鏡検査の実施方法とスコープの洗浄・消毒について学修する		
23	眼科検査①	視覚検査、眼科神経学的検査、シルマー試験、フルオレセイン染色などの検査の意義と方法について学修する		
24	眼科検査②	細隙灯顕微鏡検査、眼圧測定、眼底検査などの検査の意義と方法について学修する		
25	神経学的検査①	神経学的検査の目的、視診、姿勢反応について学修する		
26	神経学的検査②	脊髄反射、脳神経検査および神経学的検査の評価記録法について学修する		
27	皮膚の検査	皮膚病変の観察・記録法および皮膚の検査方法について学修する		
28	耳の検査	耳介、外耳道の意義と検査方法について学修する		
29	細胞診と病理組織検査	細胞診検査の目的と方法を学修する 病理組織検査の目的と検体処理法について学修する		
30	遺伝子検査	遺伝子検査の目的と対象疾患について、および検体の採取と取り扱い法について学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物臨床検査学（インターズー） イヌとネコの臨床検査マスターブック（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	90回	90単位時間	必須	横田 真早子
授業の概要				
検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査学で学んだ知識を生かし、動物や検体、機材などを取り扱うための技術を修得することができる 得られた検査結果を適切に報告することができるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
配布資料や授業のノートをもとに復習し理解を深める				
日	テーマ	内容		
1	一般身体検査	演習によって動物の一般状態（バイタル、身体検査）を的確に把握できるようになる		
2	血液一般検査①	採血の補助と保定法・駆血法、採血した検体の保存法などの技術を修得する		
3	血液一般検査②	CBC検査、ヘマトクリット管を用いた検査法と結果の報告、遠心分離機の使用法などの技術を修得する		
4	血液一般検査③	犬のフィラリア症の検査法、顕微鏡の正しい取り扱い方について技術を修得する		
5	血液一般検査④	血液塗抹標本の作製法および染色法の技術を修得する		
6	血液一般検査⑤	血液塗抹標本の観察による血液細胞の形態の特徴確認と白血球分画の確認を行う技術を修得する		
7	血液生化学検査①	抗凝固剤の選択、血漿と血清の分離法について知識と技術を修得する		
8	血液生化学検査②	ドライケムの使用法、検査結果の記録・報告やデータの管理、備品の管理などについて知識と技術を修得する		
9	貧血時の検査	赤血球の再生像を調べる検査法の知識と技術を修得する ニューメチレンブルー染色の技術と評価法を修得する		
10	輸血時の検査	交差適合試験の方法と判定法についての技術を修得する		
11	尿検査①	採尿時の保定法、検体の取り扱い方と保存について知識と技術を修得する		
12	尿検査②	尿の物理学的検査、化学的検査を行う技術を修得する		

13	尿検査③	尿沈査の技術および結果を記録する技術を習得する		
14	糞便検査①	採便法、糞便の性状確認、直接法の標本作製や寄生虫の検出、腸内細菌所見を報告するための技術を修得する		
15	糞便検査②	浮遊法の標本作製および寄生虫卵を検出するための技術を修得する		
16	X線検査①	撮影器具やフィルムの取り扱い、放射線防護に必要な装備と行動について学修する		
17	X線検査②	撮影の準備、撮影におけるポジショニングと保定（胸部・腹部・頭部・頸部）について正しい技術を修得する		
18	X線検査③	X線検査におけるポジショニングと保定（四肢・股関節・膝関節・脊椎）について正しい技術を修得する		
19	心電図検査①	心電計の取り扱い、検査の準備と手順、保定などについて学修する		
20	心電図検査②	肢誘導による心電図の違いを確認し、正常な心電図を理解する		
21	超音波検査①	超音波装置の取り扱い、検査手順と検査前動物の準備、検査後の装置の管理などについて学修する		
22	超音波検査②	検査時に使用される、部位別の保定技術を修得する		
23	神経学的検査①	視診での評価、神経学的検査に必要な器具の準備および検査結果の記録の取り方について学修する		
24	神経学的検査②	姿勢反応試験、脊髓反射試験、脳神経機能試験などの検査の補助方法を学修する		
25	眼科検査①	視診での評価、視覚検査に必要な器具の準備と保定について学修する		
26	眼科検査②	シルマー試験、フルオレセイン染色、眼圧測定などの検査の準備と補助について学修する		
27	皮膚検査①	皮膚病における問診の取り方および病変部の観察と記録方法を学修する		
28	皮膚検査②	皮膚搔爬試験、スタンプ検査、被毛検査等の検査方法や、器具の準備と検査の補助について学修する		
29	外耳道検査	必要な器具の準備と検査の補助について学修する		
30	細胞診	必要な器具の準備と保定、検体処理法、染色法について学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
イヌとネコの臨床検査マスターブック(インターズー) 動物看護実習テキスト(インターズー) 動物臨床検査学(インターズー)		期末試験	100.0%	

※1日3回（3単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	石畝 史
授業の概要				
犬猫の主要な疾患の病態生理を学び、臓器ごとの機序及び機能障害や症状、検査の種類、治療法の概略を学修する				
授業終了時の到達目標				
各疾患に関連する症状や検査法、治療法の理解を深め、機能障害に対応する看護方法や介入方法を予測できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①県庁職員として保健所、衛生研究所などで研究員および所長として勤務 ②福井県獣医師会副会長として従事		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	皮膚科疾患 皮膚の代表的な疾患①	犬猫の主要な皮膚疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
2	皮膚科疾患 皮膚の代表的な疾患②	犬猫の主要な皮膚疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
3	皮膚・感覚器科系疾患③耳	犬猫の耳介、外・中・内耳に関わる疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
4	皮膚・感覚器科系疾患④皮膚および皮下織の腫瘍	犬猫の皮膚及び皮下織に発生する主な腫瘍の種類、発生機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
5	腫瘍① 総論・リンパ腫	犬猫の全身に発生する各種腫瘍、リンパ腫の主な種類、発生部位及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
6	腫瘍② 肥満細胞腫	犬猫の全身に発生する肥満細胞腫の主な発生部位及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
7	血液疾患① 血球系・脾臓	各種血球系及び脾臓疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
8	血液疾患② 凝固系	血液の凝固系疾患について、機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
9	感覚器系疾患 眼	眼科疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
10	筋肉、骨格系および整形外科疾患①筋肉・骨格・関節	筋肉、骨格、関節疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
11	筋肉、骨格系および整形外科疾患③骨折	骨折の種類、機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
12	脳神経系 ①脳・脊髄の代表的な疾患	脳・脊髄の代表的な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		

13	脳神経系 ②脳・脊髄の代表的な疾患	脳・脊髄の代表的な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
14	内分泌系疾患③副腎・生殖器・その他	副腎、生殖器、その他の主な内分泌疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
15	消化器系疾患①口腔・食道	口腔、食道の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
16	消化器系疾患②胃・小腸・大腸・肛門	胃、小腸、大腸及び肛門の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
17	消化器系疾患④肝臓、胆嚢	肝臓、胆嚢の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
18	消化器系疾患⑤膵臓、腹腔、腹膜	膵臓、腹腔、腹膜の主な疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
19	循環器疾患①先天性疾患	循環器の主な先天性疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
20	循環器疾患②後天性疾患(1)	循環器の主な後天性疾患の疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
21	循環器疾患②後天性疾患(2)	循環器の主な後天性循環器の疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
22	泌尿器系疾患(1)	主な泌尿器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
23	泌尿器系疾患(2)	主な泌尿器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
24	生殖器系・新生児・遺伝性疾患	生殖器系、新生児及び遺伝性各疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
25	呼吸器系疾患	主な呼吸器系疾患の機序及び症状、診断・検査法、治療法を学修し理解する。		
26	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒①	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
27	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒②	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
28	感染性疾患 ウイルス性・細菌性・消毒③	ウイルスと細菌による主な感染性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法、又、消毒の原理、種類、方法についても学修し理解する。		
29	感染性疾患 寄生虫性	主な寄生虫性疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法について学修し理解する。		
30	人獣共通伝染病・家畜伝染病	人獣共通伝染病、家畜伝染病の主な疾患の病原体、感染経路、症状、検査法、治療法、予防法について学修し理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
臨床動物看護学3（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床栄養学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	原田 冬華
授業の概要				
犬・猫の健康管理に必要な栄養の基礎知識（例：六大栄養素の種類、犬猫の食性、ライフステージ、ペットフードに関しての法律、犬猫に与えてはいけない食材 など）を習得する。 動物看護師に必要な栄養の知識（強制給餌の方法、疾病ごとの適切な栄養管理、疾病と栄養成分の関わり合い、栄養管理による効果 など）を学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・六大栄養素の種類、構造、生理作用や犬猫の栄養特性、ライフステージを学修し、犬猫の栄養管理について説明できる ・ペットフードの歴史や種類、法律について説明できる ・健康状態、ライフステージ別のエネルギー要求量を理解し、要求量の算定ができる ・栄養補助・管理が必要な主要疾患の病態を理解し、栄養管理技術の理論を説明できる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	なぜ栄養学を学ぶのか	動物により異なった栄養成分が必要な理由を、食性や体の構造の違いから学び、理解する		
2	エネルギー	食事のエネルギー量と動物のエネルギー要求量を理解し、1日当たりのエネルギー要求量の計算法を学修する		
3	六大栄養素（水）	水の役割、要求量を理解する		
4	六大栄養素（炭水化物）	炭水化物の種類や役割、犬猫における消化吸収を理解する		
5	六大栄養素（脂質）	脂肪の種類や役割、犬猫の必須脂肪酸、脂肪の劣化について理解する		
6	六大栄養素（タンパク質）	タンパク質の役割、犬猫の必須アミノ酸、タンパク質の過剰症と欠乏症を理解する		
7	六大栄養素（ビタミン）	ビタミンの種類や役割、犬猫におけるビタミンの過剰症と欠乏症を理解する		
8	六大栄養素（ミネラル）	ミネラルの種類や役割、犬猫におけるミネラルの過剰症と欠乏症を理解する		
9	食べてはいけない食品・成分	犬猫において摂取してはいけない食品（ネギ類、カカオ、キシリトール、人薬、ブドウ、アボカドなど）の摂取した場合の症状や特徴を理解する		
10	ペットフード学	ペットフードの歴史、フードの用途や種類、特徴などを理解する		
11	哺乳・離乳期での栄養管理	哺乳期・離乳期での犬猫の身体の特徴を学びこの時期に必要な栄養素や食餌管理の方法を学修し、理解する		
12	成長期での栄養管理	成長期での犬猫の身体の特徴、予防できる疾患（肥満など）を学修し、この時期に必要な栄養素や食餌管理の方法を理解する		

13	維持期での栄養管理	維持期での犬猫の身体の特徴、食餌で予防できる疾患（肥満、下部尿路疾患など）を学修し、この時期に必要な栄養素や栄養管理の方法を理解する		
14	妊娠・授乳期での栄養管理	妊娠・授乳期での犬猫の身体の特徴を学び、この時期に必要な栄養素や食餌管理の方法を理解する		
15	高齢期での栄養管理	高齢期での犬猫の身体の特徴、高齢期特有の食餌で予防できる疾患（腎臓疾患など）や栄養管理・食餌管理の方法理解する		
16	強制給餌法	入院動物に対しておこなう経管・静脈による栄養管理の方法を理解する		
17	疾患ごとの栄養管理（減量）①	犬猫においてBCSの評価法を学び、減量の具体的な方法、減量に必要な療法食について理解する		
18	疾患ごとの栄養管理（減量）②	ダイエットプログラムの組み立て方を理解し、目標体重やエネルギー要求量の算定を行う		
19	疾患ごとの栄養管理（皮膚）①	犬猫におけるアレルギー性皮膚炎（アトピー性皮膚炎、食物アレルギー）の病態について理解する		
20	疾患ごとの栄養管理（皮膚）②	犬猫のアレルギー性皮膚炎に対する栄養管理の方法、療法食について理解する		
21	疾患ごとの栄養管理（心臓）①	犬猫に多い心疾患（弁膜症、心筋症など）の病態について理解する		
22	疾患ごとの栄養管理（心臓）②	犬猫に多い心疾患（弁膜症、心筋症など）に対する栄養管理の方法や療法食について理解する		
23	疾患ごとの栄養管理（腎臓）①	犬猫に多い腎疾患（慢性・急性腎不全など）の病態について理解する		
24	疾患ごとの栄養管理（腎臓）②	慢性腎疾患（腎不全など）に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
25	疾患ごとの栄養管理（肝臓）	犬猫に多い肝疾患（門脈体循環シャントなど）を学び、疾患に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
26	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）①	犬猫に多い泌尿器疾患（下部尿路疾患など）の病態を学び、尿石症の種類について理解する		
27	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）②	犬猫に多い泌尿器疾患（下部尿路疾患など）に対する栄養管理の方法、療法食について理解する		
28	疾患ごとの栄養管理（消化器）①	消化器疾患（下痢・嘔吐など）の病態について理解する		
29	疾患ごとの栄養管理（消化器）②	消化器疾患（下痢・嘔吐など）に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
30	疾患ごとの栄養管理（膵臓）	糖尿病に対する栄養管理の方法と療法食について理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床動物看護学②（interzoo） ・動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野 動物栄養管理学（interzoo） ・動物看護師養成モデルカリキュラム専修学校準拠 動物栄養学（interzoo） ・犬と猫の栄養学（緑書房） 		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中山小百合
授業の概要				
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているか理解する。また薬物の取り扱いや保存方法を習得し、投薬量の計算ができるようになる。				
授業終了時の到達目標				
獣医師より処方された薬物の薬理作用および副作用を動物看護師が十分に理解し、調剤できるようにする。また、飼い主に服薬指導などができるように薬理学の各論を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として動物の飼育担当も兼ね勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	薬物動態（吸収、分布）	薬理学を学ぶ意義、目的を知る。生体内に吸収された薬物は血流によって全身の臓器に分布することを図解を用いて理解する		
2	薬物動態（代謝、排泄）	体内に吸収された薬物が、どのように代謝され、排泄されるか臓器や器官ごとに理解する		
3	薬物の効果に影響を与える因子	薬物間の協力作用、拮抗作用、耐性、血中半減期などの相互作用について理解する		
4	薬物の投与経路	薬物の投与経路の種類と、各投与経路の特徴（長所と短所）を理解する		
5	医薬品	医薬品の分類（医療用医薬品、OTC医薬品など）を学ぶ。医薬品の薬剤管理、関係法律を学ぶ		
6	薬物の剤型、投与量の計算	薬物の剤型におけるメリットやデメリット、種類を学ぶ。処方箋に用いられる調剤用語、薬用量の計算方法を学習する		
7	神経系に作用する薬物	神経系の仕組みを理解し、交感神経と副交感神経の作用を学ぶ		
8	自律神経作動薬、神経筋遮断薬、局所麻酔薬	自律神経および運動神経に作用する薬物、局所麻酔薬に使用される薬剤の種類や効果を学ぶ		
9	全身麻酔薬（注射麻酔薬）	全身麻酔薬の注射麻酔薬について、薬物動態、種類、名前および特徴を学ぶ		
10	全身麻酔薬（吸入麻酔薬）	全身麻酔薬の吸入麻酔薬について、薬物動態、種類、名前および特徴を学ぶ		
11	精神安定薬、鎮静薬、鎮痛薬、抗癌薬、行動異常の治療薬	薬物の名前、特徴及び作用メカニズムを理解する		
12	抗菌薬とは何か	抗菌薬の種類とその特性を理解する		

13	抗菌薬の作用メカニズム、βラクタム系抗菌薬	抗菌薬の作用メカニズムを学習する。βラクタム系の抗菌薬の名前および特徴を学ぶ		
14	抗菌薬	βラクタム系、アミノグリコシド系、キノロン系、テトラサイクリン系、グンダム系、マクロライド系、リソザイム系、サファール系の薬剤の名前および特徴を学ぶ		
15	抗真菌薬	抗真菌薬の名前および特徴を学ぶ		
16	外部寄生虫駆虫薬	外部寄生虫駆虫薬の名前および特徴について理解する。また外部寄生虫の種類や感染経路などを復習する		
17	内部寄生虫駆虫薬	内部寄生虫駆虫薬の名前および特徴について理解する。また内部寄生虫の種類や感染経路などを復習する		
18	抗フィラリア薬	フィラリアのライフサイクルを覚え、犬系状虫の駆虫、予防薬の名前、副作用および投与方法などについて理解する		
19	循環器・泌尿器に作用する薬物①	心不全治療薬、抗不整脈薬の名前および特徴について理解する		
20	循環器・泌尿器に作用する薬物②	利尿薬、呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬の名前および特徴について理解する		
21	呼吸器系に作用する薬物	呼吸興奮薬、鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬の名前および特徴について理解する		
22	消化器に作用する薬物①	制吐薬、催吐薬、胃酸分泌抑制薬、制酸薬、消化管粘膜保護剤の名前および特徴について理解する		
23	消化器に作用する薬物②および肝疾患、胆道疾患の治療薬	消化管運動促進薬、止瀉薬、瀉下薬、肝疾患、胆道疾患の治療薬の名前および特徴について理解する		
24	オータコイド	代表的なオータコイド（ホルモン、神経伝達物質を除く微量で生理・薬理作用を示す生体活性物質）について理解する		
25	内分泌系の薬物	治療薬として使用される内分泌薬の名前および特徴について理解する		
26	抗炎症薬（ステロイドホルモン）	炎症のメカニズムを理解し、炎症メディエーターについて学習する。ステロイドホルモンの作用、薬品名、副作用について理解する		
27	抗炎症薬（非ステロイド性抗炎症薬）、免疫抑制薬	ステロイド性抗炎症薬、免疫抑制薬の名前および特徴について理解する		
28	血液系に作用する薬物	治療薬として使用される薬物の名前および特徴について理解する		
29	抗癌剤	抗癌剤の作用メカニズム、薬物の名前および特徴について理解する。抗癌剤の使い方と注意点を理解する		
30	まとめ	前期、後期で学んだ神経系から抗癌剤までの薬物の復習をグラフや表を作成してまとめを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物の疾病と予防および回復（ファームプレス） 動物看護の教科書（緑書房） JICA ニコアニマルのファースト・ステップ薬理学（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	中山小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得する。創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 手術の際に使用する器具機材を理解して、術前の準備ができるようになる 基本的な手術の流れを理解する 手術補助に入る際に行うべきことや注意点を理解する 麻酔器の仕組みを理解する 麻酔管理で補助すべき内容を理解する 術後管理の手順や注意点、救急救命法の内容を理解する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として動物の飼育担当も兼ね勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物外科看護総論	外科診療時に補助に入る動物看護師が必要とする技術には何が必要か理解する		
2	無菌操作、手術室の環境管理	無菌操作の重要性を確認する		
3	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示について学ぶ		
4	手術器具の準備と基礎知識①	一般的な手術器具の名称と特徴を理解し、それぞれの使用目的に合わせて適切に扱えるようにする		
5	手術器具の準備と基礎知識②	一般的な手術器具の名称と特徴を理解し、それぞれの使用目的に合わせて適切に扱えるようにする		
6	手術器具の準備と基礎知識③	縫合系および縫合系の種類や特徴を理解する		
7	手指の消毒	手術前に手指を清潔に保つ必要があることを理解し、スクラブ法とラビング法を学ぶ		
8	術者の準備	帽子・マスクを必ず着用し、身なりを整え、無菌的にガウンの着用とグローブの装着を行う		
9	術野の消毒	術野及び周辺皮膚を含めて、可能な限り微生物の数を減らすために行う術野の消毒を学習する		
10	滅菌と消毒	消毒と滅菌について学習する		
11	手術器具の準備と基礎知識	手術器具、手術衣、タオル、ドレープ類の準備、手術に用いる器具・機材の準備がちゃんとできるようにする		
12	気管挿管の準備・手順	気管挿管に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		

13	血管確保の準備・手順	血管確保に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
14	輸液の準備・管理	輸液の目的を理解し、必要な準備できるようにする		
15	輸液ポンプの使用法および輸液速度の計算	輸液ポンプの接続および設定ができるようにする。また輸液速度の計算ができるようにする		
16	麻酔とは何か	麻酔の定義を知り、なぜ手術に麻酔が必要か理解する。また、麻酔の目的と基本的な考え方を理解する		
17	周術期の麻酔	麻酔前投与薬および導入麻酔を行う意義を理解し、注射麻酔および吸入麻酔について学習する		
18	術後管理	疼痛管理の意義を方法について理解する（急性痛のペインスケールをもとに判断できるようにする）		
19	麻酔装置	麻酔の呼吸回路について理解し、麻酔器の構造を覚える		
20	モニタリング①	五感をつかったモニタリング、心臓血管系のモニター項目麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
21	モニタリング②	呼吸器系のモニター項目、麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
22	麻酔装置およびモニタリングの試験	麻酔器およびモニタリングについて試験を行い、学生の理解度を確認する		
23	外科手術	卵巣子宮摘出術、去勢手術を中心に外科手術を行う上で手術に必要な知識を修得する		
24	ラット解剖	ラットを用いて去勢手術を実施し、あわせて解剖により体内の臓器及び骨等を観察する		
25	創傷管理	創傷の種類と治癒過程、管理方法を知る		
26	術創管理・包帯法・褥瘡管理	術創管理、包帯法、褥瘡予防について理解する。退院時の注意点、飼い主への説明事項について理解する		
27	理学療法	理学療法の目的と意義について理解する。代表的な理学療法の原理、手技について理解する		
28	救急救命法	エマーゼンシーの原因、病態について学習し、一次および二次救命処置について理解する		
29	歯科処置	歯についての基礎知識を得る。また代表的な歯科器具の名称、使用法を理解する		
30	薬理実習	調剤に必要な基礎知識および調剤法を修得する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）、動物看護の実践（ファームプレス）、動物看護の教科書（緑書房）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	90回	90単位時間	必須	中山小百合
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得する。創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な手術の流れを理解し手術補助に入る際に行うべきことや注意点を理解する 麻酔器の仕組みや補助すべき内容を理解し、麻酔管理やモニタリングを十分に行えるようにする 術後管理の手順や注意点を理解する。救急救命法の内容を理解する 創傷管理および理学療法の実施に必要な知識を修得する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		薬品会社にて研究員として動物の飼育担当も兼ね勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
日	テーマ	内容		
1	動物外科看護総論	外科診療時に補助に入る動物看護師が必要とする技術の確認を行う		
2	手術前の動物の必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示ができるようにする		
3	手術器具の準備と基礎知識①	メス及びメス刃、剪刀、鑷子、鉗子、持針器の取り扱いを修得する		
4	手術器具の準備と基礎知識②	サクションチップ、ドレープ、ガーゼ、整形外科器具および電気メスの取り扱いを修得する		
5	手術器具の準備と基礎知識③	縫合針および縫合糸の取り扱いを修得する		
6	手術室の環境管理、手術器具試験	手術室の環境管理について、衛生的な清掃法および機材・消耗品の管理方法について学習する		
7	手指の消毒	術者および助手は、無菌操作の前に十分な手指の消毒を行う。その手順を修得する		
8	術者の準備	帽子・マスク、ガウンおよびグローブの装着を修得する		
9	術野の消毒	術野及び周辺皮膚を含めて、可能な限り微生物の数を減らすために行う術野の消毒法を修得する		
10	滅菌と消毒	消毒と滅菌について学習する		
11	手術器具の準備と基礎知識	手術のために用いる器具・機材の準備が的確にできるようにする		
12	気管挿管の準備・手順	気管挿管に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		

13	血管確保の準備・手順	血管確保に必要な準備物を用意し、手順を理解した上で処置者の補助ができるようにする		
14	輸液準備・管理	輸液の目的を理解し、必要な準備できるようにする		
15	輸液ポンプの使用法および輸液速度の計算	輸液ポンプの接続および設定ができるようにする。また輸液速度の計算ができるようにする		
16	術前検査、麻酔リスクの評価(ASA評価)	麻酔をかける前にその動物が安全に麻酔をかけられるかどうかきちんと評価する。飼い主への説明をする		
17	周術期の麻酔	術中麻酔及び覚醒について学習し、動物の麻酔深度および覚醒の目安とリスクを理解する		
18	術後管理	術後管理および疼痛管理の意義と、その方法について理解する		
19	麻酔装置	麻酔器の構造を理解し、操作法を修得する		
20	モニタリング①	五感をつかったモニタリング、心臓血管系のモニター項目の意義について理解する		
21	モニタリング②	呼吸器系のモニター項目、麻酔監視項目の監視方法、意義について理解する		
22	麻酔記録の取り方、まとめ	麻酔器およびモニタリングの試験を振り返り、再確認を行う。麻酔記録をとる意義とその書き方を覚える		
23	手術室の準備および術中補助	手術室の準備の確認を行い、手術の直接補助および間接補助の内容について理解する		
24	ラット解剖	ラットを用いて模擬去勢手術を実施し、その後ラットの解剖を行い体内の臓器及び骨等を観察する		
25	整形外科疾患	整形外科疾患について解剖学を含め、それぞれの特徴を理解する		
26	包帯法	基本的な包帯法を修得する		
27	理学療法	理学療法の目的と意義について理解する。代表的な理学療法の原理、手技について理解する。		
28	救急救命法	救急救命に関する処置を理解し、緊急時に適切かつ速やかな対応が取れるようにする		
29	歯科処置	歯についての基礎知識を得る。また代表的な歯科器具の名称、使用法を理解する		
30	薬理実習	調剤に必要な基礎知識および調剤法を修得する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）、動物看護の実践（ファームプレス）、動物看護の教科書（緑書房）		期末試験	100.0%	

※1日3回（3単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	久木 悠愛
授業の概要				
これまでの獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理を学び、動物看護師としての社会的責務を理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 日本国内での獣医療の歴史を学び、動物看護師の職域と現状が理解できる 日本と欧米の動物看護師の職域の相違を理解し、日本での動物看護に対する概念や本質を理解することができる 獣医師と動物看護師の担当職域の違いを学び両者の視点の違いを理解することで獣医師とは異なる視点で支援ができる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物病院で動物看護師として勤務			
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物看護管理①	動物看護者の業務指針や看護方式の種類について理解し学修する		
2	動物看護管理②	獣医療チームの一員としてのメンバーシップや安全管理体制としての自己管理・防止システムについて理解し学修する		
3	動物にとっての福祉・健康・QOL	動物福祉とは何かを考え福祉と健康の関係や動物に特有なQOLの課題について理解し学修する		
4	動物看護の探求	看護動物に影響を与える環境因子に対し動物看護が果たすべき役割について理解し学修する		
5	動物看護学（師）教育の変遷	欧米と日本における動物看護学（師）教育の変遷について理解し学修する		
6	動物看護理論の成立	動物看護理論の成立から過程までを理解し学修する		
7	動物看護学における課題	動物看護学における課題と動物医療を支える獣医学と動物看護学について理解し学修する		
8	動物看護の対象	動物看護が必要とされる時とはどのような時なのかを理解し学修する。動物看護の対象となるもの（動物・飼い主）について学び患者動物、飼い主家族にとってどうあるべきなのか理解し学修する		
9	動物看護師の職域、職務範囲	動物看護師の様々な仕事（診察補助・検査・手術準備・入院動物の管理など動物に直接関わる業務）を学ぶことでその場に応じた動物看護師の役割を理解し学修する		
10	動物看護師の職域と現状	動物看護師において現在の職域を学び医療現場での現状を理解し学修する		
11	動物看護師と獣医師の視点の違い	動物看護師に必要な視点「見る」と獣医師に必要な視点「診る」について理解し学修する		

12	認定動物看護師の誕生	動物看護教育の始まりと動物看護師の育成について理解し学修する		
13	動物看護師の資格制度	教育カリキュラムの誕生や認定動物看護師について理解し学修する		
14	愛玩動物看護師	動物看護師の国家資格化に関連する専門機関について理解し学修する		
15	まとめ	総まとめをおこなう		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門分野基礎動物看護学 (interzoo) 動物看護の教科書 (緑書房) イラストでやさしく解説 動物看護師の倫理 綱領 (interzoo)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	石畝 史
授業の概要				
環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医療における公衆衛生の目的、公衆衛生行政、One Healthと獣医療の関係を理解する ・ 感染の成立、疾病・健康障害の発生要因、予防医学、人獣共通感染症とその対策を理解する ・ 環境衛生の歴史、背景、現在の問題点、化学物質による健康被害などを理解する ・ 食品衛生、食中毒、動物性食品の衛生、食品衛生管理手法などを理解する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①県庁職員として保健所、衛生研究所などで研究員および所長として勤務 ②福井県獣医師会副会長として従事		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1~2	獣医療における公衆衛生の目的、公衆衛生行政、国民衛生の動向	人を対象とした疾病の予防、健康の保持と増進について理解する。保健統計の種類とその意義を理解する		
3~4	One Healthと獣医療の関係、動物看護師の役割	感染症の制御、食料の安定供給等に向けての獣医師および動物の飼育に伴う動物看護師の役割を理解する		
5~6	感染の成立、疾病・健康障害の発生要因	感染症発生要因、感染症予防の基本原則および内因と外因が相互に関連する疾病の発生要因を理解する		
7~8	疫学調査法、人獣共通感染症の定義と概要	疫学研究のフレームワーク（検査手順）、人獣共通感染症の定義、種類、現状など理解する		
9~10	ウイルス性人獣共通感染症 狂犬病予防	主なウイルス性人獣共通感染症の病因、人における症状、対策などを理解する		
11~12	ウイルス性、リケッチア性およびクラミジア性人獣共通感染症	主なウイルス性、リケッチア性およびクラミジア性人獣共通感染症の病因、人における症状などを理解する		
13~14	細菌性人獣共通感染症	主な細菌性人獣共通感染症の病因、人集団における発生状況、人における症状などを理解する		
15~16	真菌性人獣共通感染症 自然環境および環境衛生の概念	主な真菌性人獣共通感染症の病因などおよび自然環境の循環、環境汚染が生態系に与えるリスクを理解する		
17~18	生活環境の維持（水、大気、室内、廃棄物）、地球環境問題の概要	水環境・大気環境・室内環境・廃棄物の管理および地球環境問題の概要する方法等を理解する		
19~20	地域での環境問題（公害）の概要 化学物質や放射性物質による汚染	地域での環境問題（公害）の概要および化学物質と放射線の種類とそれらの取扱いを理解する		
21~22	衛生動物等による健康被害 食品衛生の概要	健康被害を与える衛生動物等の種類および食品衛生の概要（目的、対象、範囲）を理解する		

23~ 24	細菌性食中毒	細菌性食中毒の原因菌、起病性のメカニズム、疫学、予防法を理解する		
25~ 26	ウイルス性食中毒、自然毒、有害物質による食品汚染と健康障害	ウイルス性および自然毒による食中毒の基礎知識を理解する。化学物質を含む有害物質による健康被害を知る		
27~ 28	食品添加物、食物アレルギー、微生物制御と腐敗、食品衛生行政	食品添加物の概要、食品に対するアレルギー反応、食品の腐敗メカニズム、食品衛生行政を理解する		
29~ 30	食品衛生管理、乳、乳製品および食肉、食鳥肉等の衛生	食品衛生に関する行政の役割、動物性食品（乳、乳製品、食肉、食鳥肉、食卵）の衛生を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
獣医公衆衛生学Ⅰ、Ⅱ(文永堂出版)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
伴侶動物学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	宮原 佳奈
授業の概要				
人と綿密な関係を築く動物は伴侶動物と呼ばれ、本講義では人との関わりが古くからある猫や、飼育が一般化しつつあるウサギやハムスターなどのエキゾチックアニマルと呼ばれる伴侶動物についても学ぶ。伴侶動物の歴史や品種、生態だけでなく、各動物の解剖学的特徴や飼育環境を理解し、環境整備の方法を習得する。また、各動物の代表的な病気や予防に関する知識も併せて習得する。				
授業終了後の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 各動物の特徴、生態に関して正しい情報を理解している 適切な飼育環境、食事について動物を飼育したことがない人にも説明ができる また、各動物の飼育上知っておくべき主要な病気やその予防法についても知識を有し、適切な接し方を伝えることができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	学修内容		
1	エキゾチックアニマルの歴史と飼育状況	現在飼育されている主なエキゾチックアニマルの現状と動向を学び、社会における動物飼育の理解を深める		
2	鳥類の解剖生理	家庭飼育されている主な鳥類の種類、それぞれの生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
3	鳥類の飼育方法・疾病	鳥類の飼育環境の整備、食事管理の方法を学ぶ。 鳥類の代表的な疾病と予防法を学ぶ		
4	ウサギの解剖生理	ウサギの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
5	ウサギの飼育方法・疾病	飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 代表的な疾病と予防法を学ぶ		
6	ハムスターの解剖生理	ハムスターの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
7	ハムスターの飼育方法・疾病	ハムスターの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 ハムスターの代表的な疾病と予防法を学ぶ		
8	モルモットの解剖生理	モルモットの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
9	モルモットの飼育方法・疾病	モルモットの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 モルモットの代表的な疾病と予防法を学ぶ		
10	フェレットの解剖生理	フェレットの種類、生態、解剖学的特徴、雄雌の鑑別を学ぶ		
11	フェレットの飼育方法・疾病	フェレットの飼育環境の整備、食事管理を学ぶ。 フェレットの代表的な疾病と予防法を学ぶ		
12	ウサギ、ハムスター、フェレット、モルモット、小鳥のまとめ	それぞれの動物を解剖学的、飼育環境などを絞ってまとめ、一覧を作成して動物種ごとの違いを理解する		

13	爬虫類	代表的な爬虫類の種類と飼育環境を理解する。 注意すべき疾病と予防法を学ぶ		
14	両生類	代表的な両生類の種類と飼育環境を理解する。 注意すべき疾病と予防法を学ぶ		
15	エキゾチックアニマルの理解度を上げる。	爬虫類、両生類の種類を調べ、一覧を作成し、飼育環境の違いや類似点を学ぶ		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
伴侶動物解剖生理学（緑書房） カラーアトラスエキゾチックアニマル爬虫類・両生類編（緑書房）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
臨地実習		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	外部実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	原田 冬華
授業の概要				
動物病院での実習を通し、業務内容を理解し新人として実践力を養う。 個人が責任を持って体調管理を行い、実際の動物看護師の業務を行う経験をする				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物病院の1日の流れを体験し、基礎的な業務について理解する 指導者の指示のもと、看護補助を体験し、各業務の役割を理解する 新人として必要とされる看護技術と知識を身に着ける 				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
各授業のノートやテキストなどを使用して復習すること				
1~120	動物病院実習	動物病院の業務を理解し、体験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
各授業で使用するテキスト、ノート		課題・レポート	100.0%	現場の獣医師や先輩方とコミュニケーションをとり、卒業後の進路や就職先の参考にする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
産業動物学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	45回	45単位時間	必須	小林 修一
授業の概要				
産業動物の歴史や品種、その特徴と利用状況、飼養管理法、および畜産業などにおける生産物や労働力、癒しなど社会との関わりについて講義や写真、飼育現場で学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 生物や産業動物の多様性と人間や社会との関連性の知識を身に付ける中で、個々の家畜の役割とその利用方法の判断ができ、社会における家畜の利用や寄与に貢献できる 動物の正しい飼養管理方法と異常時の対処方法を判別できる 生命に対する関心と見方、接し方を考慮することができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①県庁農林水産部職員として勤務 ②株式会社ホクコン環境事業部の技術顧問として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
日	テーマ	内容		
1	生物の多様性と環境	生物の系統樹とその生息環境について理解する		
2	家畜（産業動物）とは何か	動物から家畜への歴史と生産物、能力、社会への貢献について理解する		
3	産業動物として用いられる動物種(牛)	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理（牛）について理解する		
4	産業動物として用いられる動物種(馬、豚)	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理（馬、豚）について理解する		
5	産業動物として用いられる動物種(綿山羊、鶏)	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理（綿山羊、鶏）について理解する		
6	産業動物として用いられる動物種	家畜の種類と品種、その価値、飼養管理（その他の家畜）について理解する		
7	特徴的な体の仕組み①	家畜の種類による胃、腸の違いと機能を理解する		
8	特徴的な体の仕組み②	家畜の種類による歯および指の違いと機能を理解する		
9	特徴的な体の仕組み③	家畜の種類による生殖器の違いと機能を理解する		
10	繁殖	家畜の種類別による繁殖方法から生産性や利用方法の違いを理解する		
11	家畜の疾病と対処①	家畜ごとの特徴的疾患と対処法について理解する		
12	家畜の疾病と対処②	家畜ごとの特徴的疾患と対処法について理解する		

13	飼養衛生管理	家畜別の衛生管理基準により衛生の重要性を理解する		
14	畜産業を取り巻く環境と現状	畜産関係組織と畜産業の地域性、特徴、経済規模を理解する		
15	産業動物の福祉	産業動物の飼育と福祉上の問題点及び改善点を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
産業動物学テキスト（インターズー） ヒトと動物（野生動物・家畜・ペットを考える）（朔北社） 生物多様性の基礎知識（B&Tボックス）		期末試験	100.0%	

※1日3回（3単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実験動物学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
45分	15回	15単位時間	必須	小林 修一
授業の概要				
実験動物の歴史や品種、飼養管理法および動物実験との関わりについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
実験動物に関する基礎知識を理解することで、動物看護に活かすことができる。習得した知識から、飼い主に実験動物の重要性を伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①県庁農林水産部職員として勤務 ②株式会社ホクコン環境事業部の技術顧問として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	実験動物学の基礎①	動物実験の目的、意義、歴史などについて理解する		
2	実験動物学の基礎②	実験動物の関係法規などについて理解する		
3	実験動物学の基礎③	動物種、品種、系統の概念などについて理解する		
4	実験動物学の基礎④	実験動物の基本的な取り扱いなどについて理解する		
5	実験動物学の基礎⑤	①代表的な実験動物の特性と飼育管理、繁殖を理解する		
6	実験動物学の基礎⑥	②代表的な実験動物の特性と飼育管理、繁殖を理解する		
7	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル①	遺伝的制御について理解する（近交系、クローズドコロニー、交雑群など）①		
8	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル②	遺伝的制御について理解する（近交系、クローズドコロニー、交雑群など）②		
9	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル③	微生物学的制御について理解する（無菌動物、ノトバイオート、SPFなど）①		
10	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	微生物学的制御について理解する（無菌動物、ノトバイオート、SPFなど）②		
11	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	環境制御について理解する		
12	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	疾患モデル動物について理解する		

13	実験動物の制御（コントロール）と疾患モデル④	動物実験の代替法を理解する		
14	まとめ①	確認問題と解説 全体の内容を理解できているか自己確認を行う		
15	まとめ②	確認問題と解説 全体の内容を理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> • 実験動物学 • 最新実験動物 • 応用動物看護学（インターズー） 		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
野生動物学		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小林 修一
授業の概要				
日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物との関わりについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・実験動物に関する基礎知識を理解、および動物園などの展示動物を理解することで、動物看護に活かすことができる ・習得した知識から、飼い主に野生動物や展示動物の重要性を伝えることができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		①県庁農林水産部職員として勤務 ②株式会社ホクコン環境事業部の技術顧問として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習する				
回	テーマ	内容		
1	野生動物学の基礎①	野生動物の種類と特徴について理解する		
2	野生動物学の基礎②	野生動物の保全の意義を理解する		
3	野生動物学の基礎③	野生動物による鳥獣害の現状について理解する		
4	野生動物学の基礎④	飼育下繁殖および動物などの役割について理解する		
5	野生動物学の分類と生物多様性①	動物分類の方法について理解する		
6	野生動物学の分類と生物多様性②	日本在来の動物の生態および生息環境について理解する		
7	野生動物学の分類と生物多様性③	種の多様性、遺伝子の多様性条約および国家戦略について理解する		
8	野生動物学の分類と生物多様性④	生物多様性条約および国家戦略について理解する		
9	絶滅危惧種の保全①	絶滅危惧種の定義および含まれる動物（レッドリストなど）について理解する		
10	絶滅危惧種の保全②	絶滅危惧種の原因について理解する		
11	絶滅危惧種の保全③	絶滅危惧種の保全法について理解する		
12	動物園①	展示動物の意義と動物園の役割および個体管理について理解する		

13	動物園②	動物園の行動管理および施設管理について理解する		
14	外来種	外来種の定義および含まれる動物について理解する 外来生物への対策について理解する		
15	まとめ	確認問題と解説 全体の内容を理解できているか自己確認を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・コアカリ 野生動物学 ・野生動物と社会 ー人間事象からの科学ー ・応用動物看護学（インターズー） 		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療関連法規		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	石畝 史
授業の概要				
動物や獣医療に関連するさまざまな法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・法律全体に共通する一般的な内容について説明できる ・法律によって対象とする動物種が異なることを説明できる ・愛玩動物看護師法、獣医師法、獣医療法など動物医療に関わる法律について、概要を説明できる 				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
テキストの読み込み、講義でのノートの復習				
回	テーマ	内容		
1	法の基礎知識	法律全体に共通する一般的な内容について学修する		
2	各分野・領域に関する法規	各法規が対象とする動物種、伴侶動物・生産動物それぞれに関連する法規について学修する		
3	獣医事行政法規（愛玩動物看護師法）	愛玩動物看護師法の趣旨や内容について学修し、概要を理解する		
4	獣医事行政法規（獣医師法）	獣医師法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
5	獣医事行政法規（獣医療法）	獣医療法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
6	家畜衛生行政法規（家畜伝染予防法）	家畜伝染予防法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
7	公衆衛生行政法規（ペットフード安全法、その他の関連する法律）	ペットフード安全法、その他の関連する法律の目的や内容について学修し、概要を理解する		
8	公衆衛生行政法規（感染症法）	感染症法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
9	公衆衛生行政法規（狂犬病予防法）	狂犬病予防法の目的や内容について学修し、概要を理解する		

10	公衆衛生行政法規（身体障害者補助犬法、その他の関連する法律）	身体障害者補助犬法、その他の関連する法律の目的や内容について学修し、概要を理解する		
11	薬事行政法規（医薬品医療機器等法、その他の関連する法律）	医薬品医療機器等法、その他の関連する法律の目的や内容について学修し、概要を理解する		
12	環境行政関連法規（動物愛護管理法）	動物愛護管理法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
13	環境行政関連法規（外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法）	外来生物法、種の保存法、鳥獣保護管理法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
14	環境行政関連法規（ワシントン条約、ラムサール条約、廃棄物処理法）	ワシントン条約、ラムサール条約、廃棄物処理法の目的や内容について学修し、概要を理解する		
15	まとめ	総まとめをおこなう		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学②（インターズー）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
統一試験対策		ペット総合学科 動物看護コース/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	原田 冬華
授業の概要				
<p>「動物看護師統一認定試験」とは動物看護師の知識・技術の高位平準化を図るとともに、将来的な公的資格制度に繋げる目的で設立された、現在最も標準的な動物看護師資格となっている。この授業では過去問や予想問題を解き、形態学などの基礎知識から疾患学などの応用知識を総合的に修得し、出題傾向の把握と設問に対する理解力、適切な解答を導くための知識を修得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分や点数目標を立てながら学習し、自己学習を継続することができる ・苦手分野を把握し、弱点強化をすることができる ・模擬試験を行うことで、本番への対応力が身に付く 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物看護師統一認定試験の概要理解 基礎動物看護学Ⅰ 一般問題①	動物看護師統一認定試験の設立経緯、試験時期、試験構成、試験分野の説明を行い、試験概要を理解する。 形態機能学・病理学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
2	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題②	薬理学、動物遺伝学、動物行動学、放射線学、免疫学、微生物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
3	基礎動物看護学Ⅰ 一般問題④ 理解度確認問題	寄生虫学、公衆衛生学、毒性学、繁殖学、野生動物学の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する 基礎動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
4	基礎動物看護学Ⅰ 復習 基礎動物看護学Ⅱ 一般問題①	基礎動物看護学Ⅰ理解度確認問題の復習を行う 動物看護の基礎概念・職業倫理、動物福祉・関連法規の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
5	基礎動物看護学Ⅱ 一般問題② 一般問題③	動物看護の展開、共通の基礎看護技術、診療に伴う動物看護技術の一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
6	基礎動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習	基礎動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
7	基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②	基礎動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
8	応用動物看護学Ⅰ 一般問題① 一般問題②	受付業務から動物栄養学、救命救急時の動物看護からシニアの看護までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
9	応用動物看護学Ⅰ 理解度確認問題 復習	応用動物看護学Ⅰの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
10	応用動物看護学Ⅱ 一般問題① 一般問題②	内科系疾患から呼吸器疾患、脳・神経疾患から耳鼻咽喉疾患までの一般問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		

11	応用動物看護学Ⅱ 理解度確認問題 復習	応用動物看護学Ⅱの一般問題を試験形式で解き、理解度の確認、 復習を行う		
12	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱ 実地問題① 実地問題②	応用動物看護学Ⅰ・Ⅱの実地問題を解き、解答解説をノートにま とめて理解する		
13	過去問題模擬試験① 一般問題・実地問題	2017年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握す る（一般問題、実地問題）		
14	模擬試験復習	2017年度過去問題の復習を行う		
15	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
16	過去問題模擬試験② 一般問題・実地問題	2018年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握す る（一般問題、実地問題）		
17	模擬試験復習	2018年度過去問題の復習を行う		
18	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
19	過去問題模擬試験③ 一般問題・実地問題	2019年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握す る（一般問題、実地問題）		
20	模擬試験復習	2019年度過去問題の復習を行う		
21	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
22	過去問題模擬試験④ 一般問題・実地問題	2020年度過去問題で模擬試験を行い、現段階での実力を把握す る（一般問題、実地問題）		
23	模擬試験復習	2020年度過去問題の復習を行う		
24	模擬試験復習	不正解の問題で、再度試験を行い理解度を確認する 再試験の復習を行う		
25	計算問題対策①	計算を含む問題を解き、解答解説をノートにまとめて理解する		
26	計算問題対策② 理解度確認問題 復習	計算を含む問題を試験形式で解き、理解度の確認、復習を行う		
27	弱点対策①	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うこと によって正解率をあげる		
28	弱点対策②	苦手分野の問題を試験形式で解き、復習を行う		
29	弱点対策③	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うこと によって正解率をあげる 苦手分野の問題を試験形式で解き、復習を行う		
30	弱点対策④	各自の苦手分野を解析し、必要な問題を解き、復習を行うこと によって正解率をあげる		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	完全対策問題集(インターズー) 完全攻略！問題&解説集(緑書房)	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習		ペット総合学科 トリマーコース/2年	2021/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	480回	960単位時間	必須	富永 梨恵
授業の概要				
1年次のグルーミング理論Ⅰ、グルーミング実習で学んだコンパニオンアニマルをケアする際の専門器具の名称、使用方法、選定方法や犬の健康管理に加え多様化する犬種の保定方法や健康ケアの方法を学修する。また犬の持つ多様な行動パターンに対しての応用力を習得するため、保定やカットが多少困難な性質を持つ犬も使用し犬のライフステージ、飼育環境、飼養目的にあったカットの方法を学修する。また犬種によって様々なカットの方法、現在のカットのトレンドをも学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 犬種や犬のライフステージごとに持つ様々な皮膚や被毛の種類への対応ができる ペットショップや動物病院にて飼い主様の求めるケア内容に対応できる技術の習得をする 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットサロンに勤務		
時間外に必要な学修				
自宅でのシザーリング練習				
日	テーマ	内容		
1～4	・1年次の復習①	犬の扱い方、道具の扱い方、グルーミング(爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業)などの復習を行いながら正確に作業を進めることを説明する。また安全確認の為2人で1頭を仕上げる。		
5～8	・実技試験①(個人の課題を見つける)	グルーミング(爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業)の確認テストをおこなう。採点表から個人の課題を発見しカウンセリングを行い個別の目標を持たせる。		
9～12	・ケネル&ラムクリップ① クリッパーワークの基準となるライン、クリッパーのかけ方、フットラインを理解する。	ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。また1年次に学修したケネル&ラムクリップのカットの手順をもとにこの週では体躯構成別に違ってくるクリッパーの位置や掛け方に焦点を絞る。教材犬(モデル犬)を使って説明し実習を行う。		
13～16	・他犬種① サマーカットのボディのクリッピングライン、方法などを理解する。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーのかけ方に焦点を絞り教材犬(モデル犬)ごとに説明し実習を行う。		
17～20	・ケネル&ラムクリップ② 後躯のカットの手順とカット方法、正しい形を理解する。	ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。前週のクリッパーワークに続き、体躯構成別に違ってくる後躯のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬(モデル犬)ごとに説明し実習を行う。		
	・他犬種② 後躯のカットの手順とカット方法、正しい形を理解する。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワークに続いて教材犬(モデル犬)それぞれの後躯のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬(モデル犬)ごとに説明し実習を行う。		
	・ケネル&ラムクリップ③ 中躯のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。	ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後躯に続いてこの週では体躯構成別に違ってくる中躯のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬(モデル犬)ごとに説明を行い実習する。またクリッパーワークや後躯の作り方の復習もあわせて行う。		

21~ 24	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種③ <p>中駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの中駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ④ <p>基礎の大切を再確認</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使いカットを行う前のシャンプーとブローの重要性、健康な被毛を維持することの大切さを改めて説明する。 1頭ごとのグルーミング作業のチェックし評価する</p>
25~ 28	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑤ <p>前駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆、中駆に続いてこの週では体躯構成別に違う前駆のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習する。またクリッパーワーク、後駆、中駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種④ <p>前駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆、中駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの前駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆、中駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
29~ 32	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑥ <p>頭部、ネック、テイル、耳のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆、中駆、前駆に続いてこの週では体躯構成別に違う頭部、ネック、テイル、耳のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習する。またクリッパーワーク、後駆、中駆、前駆の作り方の復習もあわせて行う（ケネル&ラムクリップが一通り完成できるようになっている）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種の頭部⑤ <p>ネック、テイル、耳のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆、中駆、前駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの頭部、ネック、テイル、耳のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆、中駆、前駆の作り方の復習もあわせて行う（様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく）</p>
33~ 36	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑦ <p>プードルのスタンダードに近づけるためのバランスのととり方、カットの手順を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違ってくる前駆、中駆、後駆のバランスのととり方を説明し正しい全体の形（アウトライン）を理解するとともにその個体の完成した形の作り方を説明する</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種⑥ <p>120分~180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明し所定の時間で終われるよう時間を計り苦手作業の時間を短縮する方法を説明する。 （様々な犬種に対しても苦手犬種や苦手箇所についても反復して学修していく）</p>
37~ 48	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑧ <p>ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験に向けて180分での仕上げを目指す。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違っている完成した形を時間を計り所定の時間で終え個々人の課題を説明する。 チェック表を使い個々人の目標を作成する</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種⑦ <p>120分~180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。（様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく）</p>

49~ 64	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑨ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験に向けて120分での仕上げを目指す。 	<p>ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。体躯構成別に違っている完成した形を時間を計りライセンス試験の120分で終え個人個人の課題を説明する。チェック表を使い前回の課題と目標の達成度合いについて説明し次の目標を作成する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種⑧ 120分~180分での仕上げを目指す。 	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
65~ 68	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑩ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験1か月前の最終カットを行う(120分で完成させる) 	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種⑨ 120分での仕上げを目指す。 	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
69~ 76	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑪ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験を意識した。個別の課題克服ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験最終調整 	<p>ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、個人個人が課題とする部分(クリッパーワーク、頭部ネックの表現、アウトラインの出し方)を正確に作れるよう説明する</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種⑩ 120分での仕上げを目指す。 	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するための説明を行う。また様々な犬種とお客様のオーダー理解できるような接客を受け付け練習にて指導を行う</p>
77~ 88	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑫ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験での課題部分の絞り込みと(社)動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス取得に向けての改善 	<p>ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、個人個人が課題とする部分(クリッパーワーク、頭部ネックの表現、アウトラインの出し方)を正確に作れるよう実習する</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種⑪ 120分での仕上げを目指す。 	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するための説明を行う。また様々な犬種とお客様のオーダー理解できるような接客を受け付け練習にて指導を行う</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ⑬ 120分での仕上げとジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験での課題を意識した仕上がりをを目指す 	<p>ブードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験の際に学生が感じた個人の課題(クリッパーワークの短縮やボディーや全体の切込み)を理解させ説明し(社)動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス試験の課題を抽出する</p>

89～ 96	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種^⑫ <p>120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮をするとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>		
97～ 100	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ^⑭ <p>(社) 動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンスライセンス最終カット</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違っている完成した形とジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級ライセンスでの課題を意識して時間を計り2時間で完成させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種^⑬ <p>120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮をするとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>		
101 ～ 112	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ^⑮ <p>(社) 日本動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンスを意識した。個別の課題克服、(社) 日本動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス最終調整</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、完成形を作れるようになっているラムクリップの細かい部分のカット(フットライン、ポンポン、ボディの面だし)により一層こだわり、時間の短縮とカットの美しさを求めていけるよう説明する</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種^⑭ <p>120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮をするとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>		
113 ～ 116	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップ^⑯ <p>次年度(4月)スタートの為の手入れとケネル&ラムクリップショートにカットを行う。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、次の年度までの間、お客様のお手入れがし易いよう、また新2年生が切込み易いようにに体のカットを短く切り込む</p>		
117 ～ 120	<ul style="list-style-type: none"> 他犬種^⑮ <p>120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮をするとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> 最新ドッググルーミングマニュアル 		期末試験	100.0%	

※1日4回(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論Ⅱ		ペット総合学科 トリマーコース/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	富永 梨恵
授業の概要				
グルーミング、トリミングを行う際に、それぞれの犬種のスタンダード(その犬種の理想の体の構成)や理想の骨格構成をイラストや教科書を使用して学修し、その知識を実際のトリミングに反映出来る様に、イラストを描く授業や粘土を使った演習なども取り入れながら、それぞれの犬種のカット方法を学修させる。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・プードルのケネル&ラムクリップの理想の形をイラストで描けるようになる。 ・展開図を描くことで立体的なとらえ方が出来る様になり、実際のカットに反映出来る様になる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリミングサロンでトリマーとして従事		
時間外に必要な学修				
テキストの該当箇所に事前に目を通し、予習を行う 各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	プードルのスタンダード	1年次の復習もかねて、プードルのスタンダードを理解しカットで理想体型に近づける為の知識を習得。		
2	ケネル&ラムクリップの犬体図 プードルの骨格構成	犬体図を描くことで、理想のバランスを習得し、骨格構成を描く事で、理想の骨格の角度、長さなどを習得する。		
3	ケネル&ラムクリップの展開図 (側望、上望)	前回作成した犬体図を基に、上から見た(展開図)を作成し、ラムクリップのシルエットを習得していく。		
4	ケネル&ラムクリップの展開図 (前望、後望)	前回の続きで、前望からの絵、後望からの絵を描き、いろいろな視点からの形を習得していく。		
5	プードルのJKC公認ペットクリップ	JKC公認ペットクリップ(6種類)の大まかなカット方法と、特徴を学んでいく。		
6	ラムクリップ実寸大粘土 (土台作り 後駆)	粘土作りに必要な土台の後駆部分の作成を行っていく。 アンギュレーションの角度などに気をつけながら作成していく。		
7	ラムクリップ実寸大粘土 (土台作り 前駆)	粘土作りに必要な土台の後駆部分の作成を行っていく。 前駆、頸など作成し完成を目指す。		
8	ラムクリップ実寸大粘土 (粘土作り)	前回作成した土台にラムクリップの形に粘土をつけていき、完成を目指す。粘土を作る事で、実際の形や大きさをリアルに体感できる。		
9	ラムクリップ実寸大粘土 (粘土作り②) 応用編	反復する事で前回よりも形や大きさだけでなく、全体のバランスも意識しながら作成していく。		
10	パジャマ・ダッチ・クリップ トリミング方法	パジャマ・ダッチ・クリップのクリッピング方法や、パーツ毎の作り方などを理解する。		
11	ボレロ・マンハッタン・クリップ トリミング方法	ボレロ・マンハッタン・クリップのクリッピング方法やプレスレットの作り方などを理解する。		

12	ファースト・コンチネンタル・クリップ ブ トリミング方法	ファースト・コンチネンタル・クリップの後軀のクリッピング方法や、ロゼットの作り方、プレスの作り方、他のカットとは違うボディの作り方などを理解する。		
13	ブードルのJKC公認ショークリップ	JKC公認ショークリップ(4種類) の大まかな特徴やトリミング方法などを理解する。		
14	まとめ	今まで学習してきた事の復習もかねて、小テストを行い、期末試験の対策もあわせて行っていく。		
15	パピークリップ・パピークリップ セカンド トリミング方法	期末試験の見直しを行ったのち、2種類のトリミング方法やわかりにくいカットの細かい違いなどを理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル (JKC) グルーミングの基礎 (インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャットマイスター		ペット総合学科 トリマーコース/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表谷 祐美
授業の概要				
<p>飼養するために必要な健康管理について、猫を飼う飼い主様にアドバイスするために必要な知識、質問されやすい問題行動についてなどを学修する。</p> <p>また、グルーミングやホテル、販売など猫の管理を行う際に必要となる扱い方や注意点を習得する。</p> <p>爪切り、シャンプー、ドライ、カットなどのグルーミング方法、注意点を学修する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ペットショップで扱われることの多いオーソドックスな猫種とその特徴を覚える。 グルーミング、販売、ホテルでのお預かりなどを行う際に必要になる知識を習得する。 ZCC キャットマイスターライセンス（ベーシック）取得。（任意） 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院トリマーとして勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	猫の種類を知る 発生スタイル	人気のある猫種、大型猫種、珍しい猫種について学修し、理解する。 3つの発生スタイルを学修する		
2	さまざまな目の色 身体づくり①	目の色のバリエーションを知る。 各部位の名称を知る。 6つの体型、皮膚と被毛について学修する		
3	身体づくり②	毛の長さ別の猫種、毛色について特徴と違いを学修する		
4	グルーミング①	グルーミングの必要性を学修し理解する。猫をグルーミングする際の心構え犬との違いを学修する		
5	グルーミング②	グルーミングを行う際の注意点、お預かりの際のポイントを学修する		
6	グルーミング③	グルーミング方法を学修する。犬のグルーミングとの違いを理解する		
7	健康管理①	社会化期の重要性、個体観察能力（見てわかること、触ってわかること、世話をしてわかること）、BCSについてを学修する		
8	健康管理②	主な疾病、フード、加齢による変化について学修する		
9	猫の問題行動①	トイレのしつけ、爪とぎ行動についてを学修する		
10	猫の問題行動②	猫との良い関係の構築について（問題行動とその対処法を知る）、食事についてを学修する		
11	猫の選び方と飼い方	購入先のメリット・デメリット、猫の選択とボディチェック、購入時の準備物、しつけとケアについてを学修する		

12	ペットショップにおいて 体販売①	生	生体の管理方法や店舗内の管理について学修する		
13	ペットショップにおいて 体販売②	生	生体販売での接客方法、注意点を学修する。		
14	ペットショップにおいて ペットホテル①		ペットホテルの特徴や必要性、予約を取る際の注意点などを学修する		
15	ペットショップにおいて ペットホテル②		お預かりする際、お預かり中、お返しの際に必要な事を学修する。お返し後のケージの消毒などについて学修する		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
Text Book of Cat Meister (ZCC)			期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリマー看護学		ペット総合学科 トリマーコース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	原田 冬華
授業の概要				
トリマー・トレーナーに必要とされる基本的な動物の病気についての基礎知識(人獣共通感染症、外耳炎、結膜炎、甲状腺機能亢進症など)や薬用シャンプーの基礎知識(正しい薬浴の方法、薬剤の種類・効能など)を学修し習得する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な動物の病気(外耳炎、白内障、歯周病など)を学ぶことでトリミング時や店舗でのお預かりの際に動物の体の異常に気付くことができる。 病気や体の異常を発見した際に飼い主様に正しいアドバイスや対処を行うことができる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物看護学を学ぶ理由	動物看護学(なぜ動物看護を学ぶのか、など)の必要性を学修し理解する		
2	全身チェック	全身状態の確認、BCS、ホルモンに関する病気について学修し理解する		
3	体調チェック	体調チェック(脈拍数、呼吸状態、可視粘膜の色調など)、エマーゲンシーと応急処置の方法を学修し理解する		
4	ズノーシス	代表的な人獣共通感染症を学び寄生虫(外部寄生虫・内部寄生虫)の判別の方法を学修し理解する		
5	皮膚の病気	皮膚の構造・働き、主な皮膚の病気(細菌性皮膚炎、疥癬症、皮膚糸状菌など)に対する対処法を学修し理解する		
6	耳の病気	耳の構造・働き、主な耳の病気(細菌性外耳炎、マラセチア性外耳炎など)を学び耳洗浄実技とイヤークリーナーの種類、トリミング時の正しい対処法など学修し理解する		
7	眼の病気	眼の構造・働き、主な眼の病気(白内障、結膜炎、緑内障など)を学びトリミング時の注意点を学修し理解する		
8	鼻と口の病気	口鼻腔の構造・働き、主な鼻と口の病気(口鼻瘻管、歯周病、歯石など)とそれに対する注意点を学びデンタルケアの実技法・デンタルケア用品を学修し理解する		
9	おしり・お腹まわりの病気	腹部・尾部周囲の構造、主なおしり、お腹まわりの病気(乳腺腫瘍、肛門周囲腺腫、会陰ヘルニアなど)を学びトリミング時の注意点を学修し理解する		
10	足先・膝・腰まわりの病気	主な足先、膝、腰まわりの病気(指間炎、膝蓋骨脱臼、股関節形成不全など)を学びトリミング時の注意点について学修し理解する		
11	薬用シャンプーの基礎知識①	薬用シャンプーの種類や成分、シャンプー療法と注意点を学修し理解する		

12	薬用シャンプーの基礎知識②	薬用シャンプーを用いたシャンプー療法の実技を行うことで正しい薬浴の知識を学修し理解する		
13	ワクチンの基礎知識	ワクチンと予防できる感染症（狂犬病、パルボ、ジステンパーなど）について学びワクチンの必要性を学修し理解する		
14	トラブル解決	ケース別（出血させてしまった、落としてしまったなど）対応や止血の方法を学び包帯法を学修し理解する		
15	高齢・幼齢犬の扱い方	トリミング時において高齢犬、幼齢犬を扱う際の注意点について学修し理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気（interzoo）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論Ⅲ		ペット総合学科 トリマーコース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	富永 梨恵
授業の概要				
グルーミング、トリミングを行う際に、それぞれの犬種のスタンダード(その犬種の理想の体の構成)や理想の骨格構成をイラストや教科書を使用して学修し、その知識を実際のトリミングに反映出来る様に、イラストを描く授業や粘土を使った演習なども取り入れながら、それぞれの犬種のカット方法を学修させる。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・プードルのラムクリップ以外のカット方法を実際のカットの際に反映出来る様になる。 ・ブラッキング犬種(ミニチュア・シュナウザー、テリア種) スイニング犬種(アメリカン・コッカー・スパニエル)のカット方法を実際のカットに反映出来る様になる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリミングサロンでトリマーとして従事		
時間外に必要な学修				
テキストの該当箇所事前に目を通し、予習を行う 各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	JKC C級ライセンス 筆記試験対策	問題集、過去問などを使用し、自習形式で自分で勉強を行い、試験対策とする。		
2	JKC C級ライセンス 筆記試験対策(小テスト形式)	前回自分達でまとめた学習内容をもとに、小テストを行い学生達の履修度を確認する。		
3	コンチネンタルクリップ トリミング方法	ショークリップの特徴であるセットアップのやり方を理解する。 ロゼットの作り方、ボディの作り方を理解する。		
4	イングリッシュ・サドル・クリップ トリミング方法	イングリッシュ・サドル・クリップの特徴である、サドル、アッパープレスレット、ボトムプレスレットのトリミング方法を理解する。		
5	テディベアカットについて	カットの種類などいろいろあるが、まずは基本となるオーソドックスなテディベアカットのトリミング方法を理解する。		
6	M・シュナウザーのスタンダード	M・シュナウザーの沿革やスタンダードを理解し、ブラッキングの必要性や犬種の特徴も理解する。		
7	M・シュナウザーのトリミング方法 (ドライグ〜クリッピング)	M・シュナウザーの被毛の特徴を把握し、それにあったドライグの行い方を理解する。基本的なクリッピングの場所や入れ方、幅などを理解する。		
8	M・シュナウザーのトリミング方法 (カッティング)	カットを行っていく上での、部位によるコーミングの行い方やカットの方法などを理解する。		
9	テリア種のトリミング方法	テリア種のタイプ、4タイプについて学び、そのタイプ別のトリミング方法を理解する。		
10	アメリカン・コッカー・スパニエルの トリミング方法とスタンダード	Amコッカーの沿革やスタンダードを理解し、その犬種の特徴、クリッピング方法を理解する。		
11	アメリカン・コッカー・スパニエルの トリミング方法とスタンダード	スイニング犬種になるので、スキ鋏の使い方、コームの入れ方、カットの方法などを理解する。		

12	NAVA1級筆記ライセンス対策	過去問や問題集などを使い、学生達自信でまとめさせる。		
13	NAVA1級筆記ライセンス対策	先週まとめた資料を基に小テストを行い、履修度を確認する。		
14	スピードトリミングについて	実際にスピードトリミングに使用する、道具を用いて、使い方や注意する事などを理解し、実践で行える様にする。		
15	テディベアアレンジカットについて	基本のカットとは違い、いろいろなアレンジカットの手法を図などを使い説明し、理解させる。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル (JKC) グルーミングの基礎 (インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグエステ学		ペット総合学科 トリマーコース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表谷 祐美
授業の概要				
<p>飼い主様とペットのためにペットエステを施術することの必要性やメリットを学び、ペットエステとはどんなものか飼い主様に伝えられるようにする。 エステティックの視点から、皮膚・被毛にとって正しい製品を選択するために1年時に学習した皮膚や被毛の構造、シャンプー・コンディショナーの目的などを復習する。 その他、多くのトリミングサロンで施術されているペットエステティックや使用する製品の使用方法、注意事項なども合わせて学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・トリミング+αになるように、メニューの知識、施術方法を説明できるようになる ・使用する製品を理解し、飼い主様に説明できるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院でトリマーとして勤務		
時間外に必要な学修				
授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	ペットエステとは	ペットエステティックとはどんなものか、施術することでどんなメリットが生まれるのかを学修する		
2	皮膚・被毛の構造、役割	シャンプー理論を学ぶ上で皮膚・被毛の構造、役割を知ることが大切なので、1年生の時の復習する		
3	シャンプー理論①	ペットにとって適正なシャンプーやコンディショナーを選ぶために、シャンプーの目的（1年次の復習）、人間用との違い、良いシャンプーとは、汚れの成分、シャンプーをしすぎると起こる弊害についてを学修する		
4	シャンプー理論② コンディショナー理論	前回の続き。ペットにとって適正なシャンプーやコンディショナーを選ぶために、pH（アルカリ性か酸性かを示す値）とは、人間と犬のpHの違い、シャンプーのメカニズム、界面活性剤（水（シャワー）と油（汚れ）を混ぜるために必要なもの）の種類、コンディショナーについてを学修する		
5	肉球ケア	飼い主様に肉球ケアの必要性をアドバイスするためにも、肉球ケアの必要性、肉球の構造・役割、起こりやすいトラブル、ケアの方法、ケア製品についてを学修する		
6	肉球ケア（実習） オーラルケア（歯みがき）	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 行う前の足裏バリカンの必要性、製品の使用方法の確認、マッサージ、簡単なツボを体験し学修する。 トリミングのオプションとしてオーラルケアを行っているお店が増えていくので、歯の構造、歯石の危険性、口腔内の異常、ケア製品の紹介、ゼオライト（ケア商品の一つ）についてを学修する		
7	泥パック（トリートメント）	ペットの被毛を美しく維持するためにも、トリートメントの種類について学修する。多くのお店でも取り入れている泥パックについて説明できるよう、泥の特徴、目的と効果、製品の使用方法と施術方法の説明、注意事項についてを学修する		

8	泥パック（トリートメント）実習	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 泥の目的と効果、施術方法と注意事項の確認は重要なことなので再度復習し実習を通して学修する		
9	ハーブパック（トリートメント）	お店での人気メニューのハーブパックについて説明できるよう、ハーブパックの特徴、目的と効果、使用方法と施術方法、メニューのバリエーションの紹介、注意事項についてを学修する		
10	ハーブパック（トリートメント）実習	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 ハーブパックの目的と効果、施術方法と注意事項の確認重要なことなので再度復習し実習を通して学修する		
11	アロマについて①	ペットにも癒しを与えたいと考える飼い主様のために、癒し効果のあるアロマの説明できるよう、犬に対するアロマの効果、使用する際の注意点、犬に危険なアロマの例について学修する		
12	アロマについて② ドッグマッサージ	前回の続き。使用する際の注意事項、Pet Esthe®アロマセラピーシステムと製品について、施術方法について学修する また、アロマにマッサージを取り入れるとより効果的なので、ドッグマッサージのやり方と簡単な例の説明も合わせて学修する		
13	カラーリングについて①（ビビットカラー（おしゃれ染め））	トリミングのオプションとしてカラーリングを希望する飼い主様のために、カラー剤の種類、人間用のカラー剤との違い、使用してはいけない理由、レストレーション（若返り）との違い、施術方法、注意事項について学修する		
14	カラーリングについて②（カラーレストレーション（白髪染め）） POP作り①	ペットも人と同じように毛色が退色するが、カラーリングによって見た目の若返りは可能。そのために、ビビットカラーとの違い、濃淡の入れ方、色の選択の仕方について学修する 1年間学んだことを踏まえて「飼い主様にご提案するため」というテーマでPOPを作成し復習をする		
15	POP作り②	前回の続き。1年間学んだことを踏まえて「飼い主様にご提案するため」というテーマでPOPを作成し復習をする		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
PowerPoint 実習で使用する教材		期末試験	100.0%	